

豪雨災害(土砂災害)への備え

『豪雨災害から命を守るための行動』や『地域での取り組み』についての資料を作成いたしましたので、ご利用ください。

豪雨災害から命を守るための行動

避難は、**各人自らの判断で行動する**ことが原則です。避難勧告が出されてなくとも「**自らの命は自らで守る**」という考えのもと、危険がせまる前に**早めに避難**を開始してください。

避難のサイン(情報は早めに!!)

避難勧告などが、でたら...



小石がパラパラ落下

斜面に湧水が発生

斜面に亀裂が発生

崖崩れの
前兆現象

こんな前兆現象が、あったら...

避難行動(早めに行動!!)

安全な場所へ避難(避難場所、近くの高台、土砂災害警戒区域外の親戚の家など)

水平避難



堅牢な建物の2階以上または、近隣の高い建物へ避難

垂直避難



建物内の安全な場所で待避(夜間や危険が差し迫っている場合など、屋外へ避難するとかえって危険な場合)

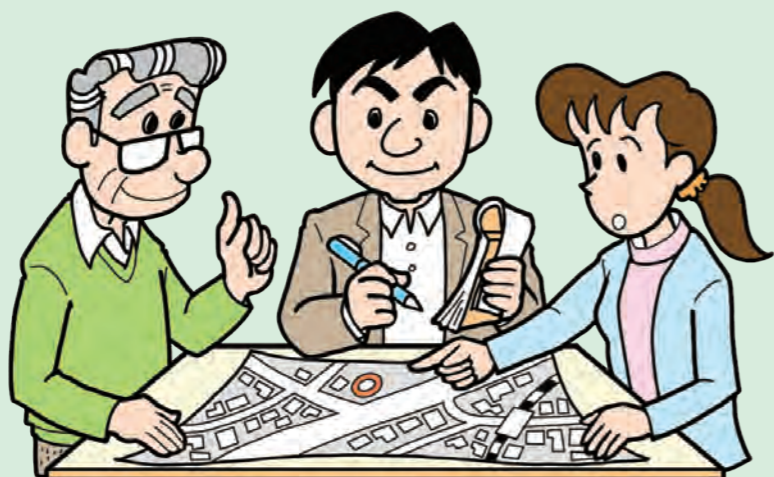
屋内待避
(斜面の反対側)



地域での取り組み

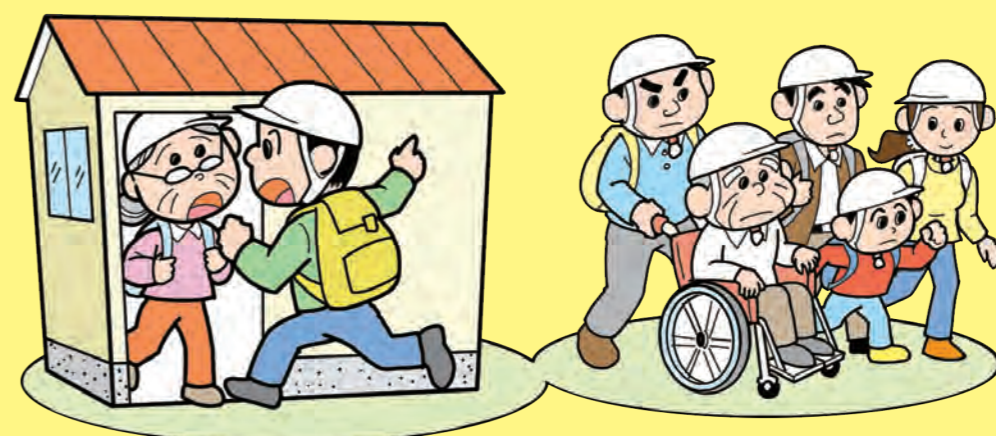
平常時

- 地域の危険箇所を事前に確認しておきましょう。
- 避難行動や防災情報等の周知に努めましょう。
- 垂直避難施設の協力・確保に努めましょう。
- 要援護者への地域での助け合いに努めましょう。
- 避難場所としての自治会館等の一時的利用について検討しましょう。



災害時

- 防災情報等の把握(土砂災害警戒情報の発表状況や避難勧告など)に努めましょう。
- 崖崩れの前兆現象を確認した場合は、近所の方々への周知に努めましょう。また、区役所に通報しましょう。
- 避難は複数で声を掛け合って避難しましょう。
- 災害時要援護者への避難支援に努めましょう。
- 避難場所の運営に協力しましょう。

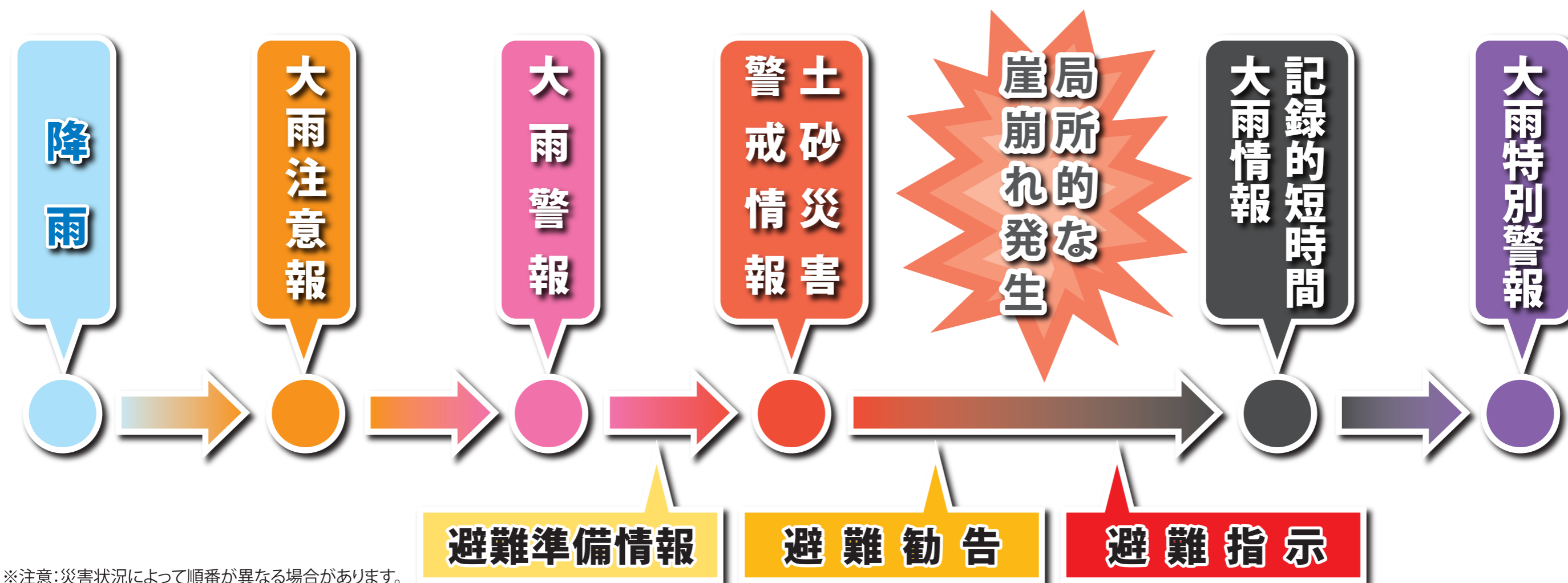


ご自宅に応じた避難行動

- ① ハザードマップを活用し、**ご自宅の災害の危険性**(土砂災害、洪水・高潮の危険)を確認します。
- ② 災害の危険性や浸水深等を考慮し、**避難場所へ避難するか垂直避難で大丈夫か**を確認します。
- ③ 近くの避難場所(高台や垂直避難施設)を事前に決めておきます。
- ④ 避難勧告や前兆現象等があった場合には速やかに避難を開始します。
- ⑤ 停電に備え懐中電灯やラジオを用意しましょう。



土砂災害に係る防災情報等の流れ(イメージ)



※注意:災害状況によって順番が異なる場合があります。

気象情報	情報内容	発表基準
大雨注意報	大雨により、災害が起こるおそれがある。	1時間雨量 30mm など
大雨警報	大雨により、 重大な 災害が起こるおそれがある。	1時間雨量 45mm など
土砂災害警戒情報	大雨による土砂災害発生の 危険度が更にたかまったとき 。	土壌雨量指数の上昇 など
記録的短時間大雨情報	数年に一度の記録的な短時間の大雨を観測したとき。	1時間雨量 100mm
大雨特別警報	大雨により、重大な災害が起こるおそれが 著しく大きい 場合。	数十年に一度の降雨量

避難情報	皆さんの行動
避難準備情報	お年寄り、子ども、障害のある人、病気の人など、避難に時間を要する方は、避難行動を開始してください。
避難勧告	安全な場所へ 避難を開始 してください。
避難指示	まだ避難行動をとっていない人は、 直ちに避難を開始 してください。

横浜市危機管理室のホームページで、各種の情報をご覧になることができます。
<http://www.city.yokohama.lg.jp/somu/org/kikikanri/>

▼横浜市ホームページ



▼横浜市危機管理室ホームページ

